



# 恵明新聞

No.111

令和3年6月4日発行

## 巣立ちに臨んで

今春、理系四年制大学を卒業した二名の静岡恵明学園児童部卒園生が、恵明のお父さんお母さんの仏前に卒業と就職の報告するために赤ちゃんセンターに来園しました。二人は静岡恵明学園乳児部からずっと一緒に過ごした二人です。同じ大学での四年間は学園をはなれ、県西部の大学寮で過ごしました。生活費は静岡県助成で、学費は彼らを温かく見守って下さる支援者の皆様のご厚志と奨学金の貸し付けを受け、足りない分は学業の間のアルバイトでしのぎました。一人は建築科、一人は機械科でした。将来の目標を聞くと、「自分の家を建てたい」、「災害支援ロボットをつくりたい」とのことでした。

数日して二人は、愛知県と神奈川県へ会社の研修を受けるため、それぞれ巣立っていきました。二人の卒業成就の為に、ご厚志を下さった皆様に感謝をするともに、ここまで生活を共にしてきた静岡恵明学園のすべての職員に感謝の念を抱きました。

新しく社会へ漕ぎだした二人の将来が幸多かれと願います。

静岡恵明学園児童部には、巣立った先輩を目指して生きる子ども達がいいます。この子らの希望が叶い、自己肯定感を感じながら生活できるような社会福祉法人静岡恵明学園がひとつとなって寄り添っていききたいと思えます。

社会福祉法人 静岡恵明学園 理事長 杉村 伸一



# 山の家だより

ボクとワタシとお姉さん



私が恵明学園に就職したのは今から五年前、はじめは事務職として入職しました。それから直接処遇職員として働くようになり、今年度が三年目になります。

私が児童養護施設に勤めるのは恵明学園が二五所目で、一番初めは大学を卒業してすぐに、横浜にある施設で働いていました。最初は児童養護施設での仕事を離れ、保育園や託児所などで働いていましたが、また児童養護施設での仕事があり、恵明学園に勤めることになりました。

最初に施設で働いていた時から十年近くの歳月が過ぎ、二十代前半だった私も二児の母となりました。母になった今、子どもたちと接していると二十代前半の私には許せずにはつづいたことを「そんなもんだよね」と流せるようになっていたり、逆に気にならな

かったことに対し、口酸っぱく注意するようになっていたり、自分自身の変化に面白さを感じる日々です。そんな中で変わらないうちも子どもたちに伝えたいと思っていることがあります。「ありがと、ごめんね、助けて」の三つをしっかりと伝えられるように。簡単なので、意外と難しい。ただ、外の世界に出たときにくらべて、大切なこと。これができれば「人から大切にされる人」になれると思います。

だから私は今日も、しっかりとありがとやごめんねを求め、手伝ってほしい時は自分から言えるまで待つし、子どもたちとつとてちょっぴり…面倒くさい存在で居ようかな…と思います。

神山 絢香(保育士)



# はなみずきの家だより

はなみずき

「あなたが親からしてもらって嬉しかったことを子どもにしてあげたい」と今亡き加藤秀郷園長に言われ、子育ての経験もなく特別なことは何もできなかった私が、唯一何度か思い出し、大切にしていた言葉です。四年前に静岡恵明学園児童部を退職し、縁あって今年の春より再びお世話になることになりました。

時を経て戻ってきたこの場所は大きく変わっていました。住み込みから交代勤務へと体制が変わり職員の仕事が軽くなりましたが、子どもたちと職員とがふれ合う時間は少なからず減り、信頼関係を築くのにより時間がかかっているように感じます。

何かを変えることによって良い部分と悪い部分が出てくるのは仕方ないことですが、そのような環境・状況の変化によって一番不安定になっているのは

蛭原 朱美(保育士)



はなみずきの家がスタートして二年が経ちました。新しいメンバーに新しい学校、そして新しい家への引越と、めまぐるしく過ぎた一年でした。子どもたちの様々な表われに、悩んだり落ち込んだりしていた日々でしたが、本当に大変だったのは子どもたち。置かれた環境の中で、前進あるのみだったのではないのでしょうか。人数の多い学校の中で友だちを作り居場所を見つけるのに必死だったことと思います。「坂小がよかった」「そんな言葉を口にする子もいました。

三月、南小の卒業式の際には、友だちと一緒に写真に納まり談笑する六年生三人の姿がありました。「ほんとによくがんばってくれた、ありがと。」そんな思いが込み上げてきました。がんばってくれたのは六年生だけではありません。引越してきたばかりの

時は、南小までの通学路を一緒に歩くと、何度もヒヤリとさせられた三年生。今では友だちとおしゃべりしながら危なげなく歩いています。そして、部活や塾を精一杯がんばっている中学生は、ムードメーカーとしてみんなを引っ張ってくれています。

四月、それぞれが進級・進学し、新たな生活が始まりました。慣れないことに直面し、イライラする子もいます。ケンカもします。不満を言うこともありますが、そんな時は思わずため息が出てしまうこともありますが、これからたくさん明るい話題を報告できるように、まずは自分が笑顔で子どもたちの傍にいたいと思います。

大津 知子(保育士)



# 児童家庭支援センター

だより



## 相談員より

昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、業務の中止や休止等、変化の一年でした。

恵明保育園子育て支援センターが再開された時には、久しぶりに遊びに訪れた利用者親子の皆さんの姿に、懐かしさとお元気な様子に安心したことを覚えていきます。

支援センターでの活動も利用時間を短縮し感染対策を強化しながら、利用者親子の皆さんに少しでも楽しい時間を過ごして頂くため試行錯誤の繰り返しでした。

絵本の読み聞かせやふれあい遊び、創作活動等、いくつプログラムを提供してきましたが、このお子さんも目をキラキラとし

ながら楽しんでいたのは、朝の会で「名前」を呼ばれることでした。

最初はイスに座っていることも飽きてしまいますが、少しずつ座っている時間も長くなり、お母さんに腕を支えてもらいながら周囲の模倣をするようになり、しばらくすると自分の名前が呼ばれるのを待ちわびるようになります。

自らの意思で返事ができるようなになると、どのお子さんも満ち足りた表情をし、目を輝かせるのでした。名前 それは燃える命ひとつの地球に

ひとりずつ ひとり

「ビューティフルネーム」という歌の二節です。「名前」の持つ、君は大切にかけがえない存在だよというメッセージが名前を呼ぶことで、子どもたちに命を吹き込んでいくのでしよう。

今年度も支援センター利用者の皆さんに、ハッピーな時間を過ごして頂けるような活動を続けていきたいと思っています。

谷山 美佳(相談員)

## 自立に向けて

今年も何人もの子どもたちが、施設や里親の元から旅立ち、ひとり暮らしを始めています。見守る私たちは不安ですが、子どもたちは、不安よりも新

しい生活を楽しみにしていました。新しい生活の中で、困難なことに遭遇した時、誰かに話を聞いてもらいたくなったり、うれしいことがあった時、私たちが思いだして連絡してきてくれればいいなと思っています。

今年初めての試みとして、旅立つ子ども達と一緒に調理実習をしました。子ども達も作ってみたいものを選び、一緒にスーパーへ買い物に行きます。児童家庭支援センターの台所で一緒に作りはじめてみると、少しの助言で思っていた以上に丁寧な上手に作っていました。

「自立」とは。私自身が高校を卒業する時、短大を卒業する時、ひとりでも何ができるか、進路に迷った時にいつも側に両親がいてくれました。今になって思えばなんともありがたかったです。当時は「自立」を求めて親元を離れたかったのです。18歳で旅立つ子どもたちも思いはきつと同じ。子どもた

ちの持つ力を信じて「自立」への支援を手助けできるように取り組んでいきたいと思っています。

## 里親カフェを

開催して

昨年10月の里親月間に「里親カフェ」を開催しました。源兵衛川のほとりにあるカフェ「river」。あいにくの雨でしたが、窓越しに見える源兵衛川と、店主の淹れてくれる美味しい飲み物の素敵な空間を貸し切らせてもらいました。広報みしまで告知した際にたちまち定員を超える申し込みを

ボランティアファイル NO.2

いつもありがとうございます

株式会社 イカイ様

児童部の子どもたちの新年三が日の楽しみといえば「すき焼き」です。食堂に集まりテーブルごとに分かれてひとつの鍋を囲み大人と子ども一緒に楽しむ機会をいただいています。子どもにはいいものを食べさせてあげなさい」と、株式会社イカイ創業者でいらっ

しゃつた伊海俊郎様が静岡恵明学園児童部にお見えになり職員に伝え、食材と料理人を連れてきてくれて、美味しい食事をほおばる子どもたちと伊海さんの嬉しそうなお顔は忘れないうちと元園長の加藤秀郷先生は生前職員に話していました。それから現在に至るまで子どもたちを「食」を中心に支えていただき、現代表取締役社長の伊海剛志様にも変わらないうちも私たちをご支援いただきありがとうございます。またイカイグループ

様で毎年行っている地蔵尊供養祭でのお供物や浄財のご寄付をいただいております。時には社員の皆さままで児童部の子どもたちとのレクリエーションを企画してくださったりと、長く子どもたちに寄り添っていただきました。子ども・職員一同、感謝の気持ちでいっぱいです。

伊海剛志様、イカイグループ様、いつもありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

岩本 千尋 (自立支援相談員)

岩本 千尋

「里親カフェ」を開催しました。源兵衛川のほとりにあるカフェ「river」。あいにくの雨でしたが、窓越しに見える源兵衛川と、店主の淹れてくれる美味しい飲み物の素敵な空間を貸し切らせてもらいました。広報みしまで告知した際にたちまち定員を超える申し込みを

思いだけではどうにもならないことも多々あるけれど「里親カフェ」で感じたことを胸に、繋がったご縁を大切にこれからも心を込めて活動していきます。

小林 美菜 (里親心理訪問支援員)

## 七夕祭り

毎年子どもたちが楽しみにしております「恵明七夕祭り」を今年は令和3年7月4日(日)に予定しておりますが、新型コロナウイルスの影響拡大により現在開催を検討中です。開催の判断等につきましては今後静岡恵明学園ホームページにて発表いたします。何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人静岡恵明学園ホームページ(お知らせ) <http://www.s-keimei.or.jp/g-osirase.htm>





# 赤ちゃんセンター



## 乳児部

「こどもたちととも」

就職してから早いもので三回目の春を迎えました。四月から、小さい子組のお姉さんの私。壁一枚の違うのに、ドキドキの毎日を過ごしています。慌てながら日を過ごす私ですが、優しく何でも教えてくださるお姉さん方や、いろいろな表情を見せてくれる子どもたちのおかげで「今日も楽しかった、明日も頑張ろう」と思えます。

## マスク生活

コロナウイルスの流行により、二エースを見れば暗い気持ちになってしまいがちですが、子どもたちの笑顔を見ると、たちまち明るい気持ちになります。大きい組の子どもたちは、私を

増尾 繪(保育士)



です。

それを感じたのは、子どもたちをお風呂に入れていた時でした。お風呂に入る時は、大人はいつものマスクから透明マスクに替えて入ります。乳児部の大きい子ども達に気にすることなく入っていたので、それが普通と思っていた。ある日赤ちゃんを入れることがあり、お風呂に呼ぶと一目見た瞬間大泣きをされました。なぜ泣くのかと



思いましたが、どうやら、ほぼマスクなしの顔に人見知りしていたようです。赤ちゃんには、大人の顔が見えることがとても大切なんだと、表情や口の動きでいろんなことを学んでいるんだと改めて思いました。早くマスクなしで生活ができ、赤ちゃんが安心して生活できる日が来ないかと心待ちにしています。

## もう一回読んで

関沼 祥子(保育士)

桜並木の新緑が美しい季節となりました。四月から初めて大きい子組の担当となり、小さい子組との違いに戸惑いつつも、毎日新しい発見で新鮮な気持ちです。

初めての大きい子組での夜勤。夜勤中に何度か読み聞かせの時間があります。ここで子ども達も興味を示してくれたら流れがスムーズに行くと思いい、何を読むかとても悩みました。悩んだ挙句、中川ひろたかさんの「はやいぞー！らんかんせん」に決めました。

んでみると…。期待を超える良い反応。特に年齢の大きいR君、Y君、S君が興味を示し「もう一回！」「一回！」「ストリクエ」してくれました。「もう一回読んで」ほど嬉しい言葉はありません。何度か読むうちにK君やMさんもリズムに合わせて手拍子をしたり「らんかんせん」と口ずさんでくれるようになりました。特にR君が気に入ってくれたようで、私の膝に来ては「し

んかんせん読んで」とお願いしてくるので、夜勤の時間、と約束しています。しばらくはこの紙芝居で楽しむことができそうです。

新型コロナウイルスが流行してから二年が経ちました。日常生活においても制限がかかり窮屈な生活が続きますが、その様な中でも乳児の子ども達はスクスク成長しています。近所のお散歩でも自然に触れたり、乗り物を見たりして日々楽しんでます。子ども達もつと沢山の景色を見て、様々な経験ができる日常が戻って来ますようにと心から願っています。

山田 智代(保育士)



# 恵明保育園

気持ちに寄り添って

毎年〇歳児を担当していた私は、一年間共に過ごしてきた可愛い子ども達と縁あって、一緒に歳児クラスへ進級することになり、今年度は喜びのスタートを切った。園庭では、毎日おんぶに抱っこで子ども達を追いかけ廻っていたが、今では歩きも達者になり、自由に探索する姿を眺めると拍子抜けしてしまう程で遅くなるにつれ感じる。食事の場面では「もうひとりでたべれるよ」と言うように、拙い手つきで一生懸命に口へ運んでいる。あまり手出し口出しすると子どもにとってストレスになるだろう



と傍らで見守る事も大事だ。毎日介助が必要だった子ども、自分の手でスプーンを握りご飯を拗る事に格闘し始めた。「大丈夫。きょうとひとり食べれるようになるからね」と心の中で祈っていただけに、嬉しくて部屋の保育士みんな嬉びあい感動した。牛乳嫌いの子にはこっそり量を減らして、ひと口でも飲めたら褒めちぎる。大人でも子どもでも褒められたら嬉しい。おやつ楽しい時間に無理強い苦痛の時間にならないうえに、子ども時代に偏食が多かった私は、それを痛感する。朝に夕に抱っこを求めてくる子には十分気持ちを受け止めてあげる。暫く抱くと

## 成長の瞬間

荒井 真弓(保育士)

自分から遊びに戻っていく。背中にとりついていてくれる子には「きてくれたの、ありがとう」とギューッと抱きしめると笑顔の花が咲く。保育士との信頼関係が深まっている瞬間だ。私はいつでもママやばあばの様に優しく温かく子ども達の気持ちに寄りそえる保育士で在りたいと今日も思う。

今年度、私は〇歳児クラスの赤ちゃん組を担当させて頂いています。一年間の育児休業を取得させて頂き、久しぶりの新年度。初心に戻り、初めての〇歳児クラス担任という事もあり、毎日学ぶことが沢山あります。慣らし保育期間の朝、人見知りの始まった子ども達はママとの離れ際に不安で涙します。泣くのをぐっとこらえ涙目でお姉さんにしがみついたり、我が子と離れた姿を重ね合わせる

せいつも心がぐつとなります。しかし、徐々に涙を流す時間が減り、いつの間にか笑顔で登園してくれる日が来るようになります。最初の涙していた頃を思い出し、成長に感動する日々です。また、布団に寝転んでいた子ども達も寝返りできるようになり、おすわりできるようになったり、離乳食を食べられるようになったりと、〇歳児はたくさん成長の連続です。もう少し大きくなると手づかみ食やハイハイ。たち、コップのみや一人歩きもできるようになります。一年間の中でたくさん成長

長を見せてくれて一人ひとりのその瞬間に立ち会えることに、大きな喜びを感じます。私生活でも職場でも可愛い子ども達に囲まれて幸せな日々を過ごさせて頂いていることに感謝です。これからも子ども達には自我が芽生えて、イヤイヤが出てくるかも知れませんが、イヤイヤ期の成長のうち。喜怒哀楽の感情も今より表現してくることも増えるので、私も子ども達との会話を楽しんでいます。「貸して」「はいよ」のやり取りや「〇〇ちゃん遊ぼう」と誘い合ったり、子ども



れなかつたり、それぞれの思いがぶつかり合ってしまうこともありました。しかし、大きい子組に進級し、少しだけお兄ちゃんお姉ちゃん気分になった子ども達は、毎日の生活の中で、たくさん成長を見せてくれます。泣いているお友達にそっとおもちを持って行ってあげたり、自分が使っていたおもちを分けてあげたり。保育士に褒められ、照れ笑いしている子ども達の姿は、私たちを温かい気持ちにさせてくれます。

また、自分の気持ちや言葉に表現してくることも増えるので、私も子ども達との会話を楽しんでいます。「貸して」「はいよ」のやり取りや「〇〇ちゃん遊ぼう」と誘い合ったり、子ども達もつと沢山の景色を見て、様々な経験ができる日常が戻って来ますようにと心から願っています。

土屋 結乃(保育士)



暖かく気持ちのよいほかほか陽気と共に、新年度がスタートしました。初めての保育室で、ちよびり緊張した様子の子どもたちや、つお兄さんお姉さんになり、ドキドキしながらも嬉しそうな様子の子どもたちなど、色々な表情がみられ、これからの一年がとて楽しみます。

今年度は、二歳児クラスのたんぼぼくみぐみを担当させていただくことになりました。〇一歳児クラスのつくりくみから持ち上がり、子どもたちと過ごすのは、三年目になります。新入園児のお友達も迎え、さらににぎやかなになったクラスに毎日元気をもらっています。

四月の当初は「たんぼぼくみさん」と呼ばれていましたが、少しずつお兄さんお姉さんになった自覚がでてきたようで「たんぼぼくみさんだもんね」と得意気に話をする様



子が、とても微笑ましいです。戸外あそびの時間は、お友達と砂あそびやおいかけて、虫探しなどを楽しみ、黄色い帽子姿も、しつくりくるようになりました。

朝の会では、アンパンマンのシール帳にシールを貼るのも、毎日わくわくした様子で「どれにしようかな?」「どこに貼るのかな?」と楽しみにしたり、サイバードリームであそぼうも始まり、簡単な英語の単語や、手あそび歌など、張り切つてマネをして参加しています。新しいことが沢山で、その度に目を

輝かせて取り組む姿に、私も嬉しくなります。

これからの一年間、もっと沢山の新しいことが待っています。子どもたちが「できた!」と達成感が得られるように援助をしたり、十分に見守つていくとともに、一緒に喜びを共有しながら、毎日を笑顔で過ごしていきたいと思ひます。

長田 美羽(保育士)

今年度も新しいお友達を迎えて、元気いっぱいスタートしました。

すみれ組さんは、初めての二階での生活にまだ戸惑うこともある中、毎朝のお支度や着替えなどを頑張る、自分のお道具を使い、とても嬉しそうです。

ゆり組さんは新しく始まった太鼓や音楽教室のレッスンに心を弾ませながら参加しています。

そして、一番大きいクラスのふよう組さんは、年長組になった喜びを感じながら毎日を過ごしています。縦割り保育を通して年下の子のお世話をしたり、一緒に遊ぶ姿は、とても微笑ましいです。また、ゆり組さんの時から憧れだった富士山係も始まり、「今日の富士山キレイだね!」と毎日みんなで楽しみにし

ています。子どもたち同士の会話の中でも「もうお兄ちゃん、お姉ちゃんだからできるよ!」というような声が多々聞こえるようになり、まだまだ自分の気持ちや我慢できなかったり、相手の気持ちを理解するまで時間がかかります。ケンカになることも時にはあります。そこで、お友達の良い所やカッコいい所を毎日見つけよう!とみんなで決めました。〇〇くんがおトイレのスリッパをそろえてたよ!〇〇ちゃんが場所を譲ってくれたよ!、少しずつお友達の良い所を見つけ、優しく接できるようになってき

ました。どんな些細なことでも、良い所を見つけてもらえた方も、とても気持ちがいいと思ひます。

コロナ禍でこの二年でたくさんのお優しさを育み、たくさんのお優しさを身につけていきたいと思ひます。そして私自身も初めての年長組の担任として、いろいろなことを一緒に経験しながら、子どもたちと成長していきたいです!

鈴木 芽衣(保育士)

子ども園グループで働き始めて二年目となり、自分が出てくる仕事が増え、子供達の「おもしろい!」という声もつと身に染みて嬉しく感じられるようになりました。

子供達にはこれからも食の大切さや楽しさを知ってもらいたいです。

さっそく、ゴールデンウィーク明けから、ランチの際、ゆり組・すみれ組さんは手作りの箸置きを使い始め、ふよう組さんは手作り

## 恵明キッズ フヨウビレッジ

たんぼぼくみ組さんだよ!

暖かく気持ちのよいほかほか陽気と共に、新年度がスタートしました。初めての保育室で、ちよびり緊張した様子の子どもたちや、つお兄さんお姉さんになり、ドキドキしながらも嬉しそうな様子の子どもたちなど、色々な表情がみられ、これからの一年がとて楽しみます。

今年度は、二歳児クラスのたんぼぼくみぐみを担当させていただくことになりました。〇一歳児クラスのつくりくみから持ち上がり、子どもたちと過ごすのは、三年目になります。新入園児のお友達も迎え、さらににぎやかなになったクラスに毎日元気をもらっています。

四月の当初は「たんぼぼくみさん」と呼ばれていましたが、少しずつお兄さんお姉さんになった自覚がでてきたようで「たんぼぼくみさんだもんね」と得意気に話をする様

今年度も新しいお友達を迎えて、元気いっぱいスタートしました。

すみれ組さんは、初めての二階での生活にまだ戸惑うこともある中、毎朝のお支度や着替えなどを頑張る、自分のお道具を使い、とても嬉しそうです。

ゆり組さんは新しく始まった太鼓や音楽教室のレッスンに心を弾ませながら参加しています。

そして、一番大きいクラスのふよう組さんは、年長組になった喜びを感じながら毎日を過ごしています。縦割り保育を通して年下の子のお世話をしたり、一緒に遊ぶ姿は、とても微笑ましいです。また、ゆり組さんの時から憧れだった富士山係も始まり、「今日の富士山キレイだね!」と毎日みんなで楽しみにし

ています。子どもたち同士の会話の中でも「もうお兄ちゃん、お姉ちゃんだからできるよ!」というような声が多々聞こえるようになり、まだまだ自分の気持ちや我慢できなかったり、相手の気持ちを理解するまで時間がかかります。ケンカになることも時にはあります。そこで、お友達の良い所やカッコいい所を毎日見つけよう!とみんなで決めました。〇〇くんがおトイレのスリッパをそろえてたよ!〇〇ちゃんが場所を譲ってくれたよ!、少しずつお友達の良い所を見つけ、優しく接できるようになってき

ました。どんな些細なことでも、良い所を見つけてもらえた方も、とても気持ちがいいと思ひます。

コロナ禍でこの二年でたくさんのお優しさを育み、たくさんのお優しさを身につけていきたいと思ひます。そして私自身も初めての年長組の担任として、いろいろなことを一緒に経験しながら、子どもたちと成長していきたいです!

鈴木 芽衣(保育士)

子ども園グループで働き始めて二年目となり、自分が出てくる仕事が増え、子供達の「おもしろい!」という声もつと身に染みて嬉しく感じられるようになりました。

子供達にはこれからも食の大切さや楽しさを知ってもらいたいです。

さっそく、ゴールデンウィーク明けから、ランチの際、ゆり組・すみれ組さんは手作りの箸置きを使い始め、ふよう組さんは手作り

のお茶碗と箸置きを使います。和食に少しでも関心を持つてくれたら嬉しいです。

和食は、日本ならではの美しい四季折々の恵みを大切に、昔から受け継がれてきた文化です。子ども園でも、旬の食材を使用したメニューを提供します。子供達が作ったお茶碗・箸置きや、私たちの調理をするものが、それぞれ食材に合わせて、旨みや美しさを引き出す工夫をするので、子供達と和食をたくさん体験することができればいいと思います。

新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底しながら、子供達が喜んでくれる、おいしくて安全なランチ・おやつを提供していきます。子供達の成長の為に、日々考えて行動し、子供達と一緒に、私も成長していきたいと思ひます。

鶴巻 実(栄養士)

## 子育て支援センター

### もり 宮さんの杜通信

2021. 4月号

暖かい春の陽気になりました。外にお散歩に出かけ、元気にたくさん体を動かしましょう。今年度も親子の触れ合いを大切にしたいと工作やリズム遊びを行っていきたく思います。どうぞお気軽にご利用ください。

今月は5月5日のこどもの日にちなみ、「おやこでこのぼり」を予定しています。このぼりの製作をして、おたをうたって楽しみましょう。

＊ ちょこっとコラム ～ 春の野菜 ～ ＊

暖かい春の陽気にはお弁当を持ってピクニックに行くのも楽しいですね。お弁当には栄養がたくさん入った旬の野菜を取り入れてみてはいかがでしょうか。ビタミンCが豊富で胃腸の働きを強めてくれる春キャベツや、イライラを鎮める効果があるとされるセロリ、またタケノコやグリーンピース、「おべんとうのうた」にも出てくる「ふき」には食物繊維があり、便秘を解消する効果もあります。

花冷えの季節で急に寒くなることもありますので、栄養をしっかりと摂って元気に過ごしましょう!

● 三島市大宮町2丁目2-11 tel.055-991-0010

### フリッパー通信

令和3年4月

春の日差しの中、上岩崎公園の桜も見ごろを迎え、新しい気持ちと共にフリッパーがスタートしました。今年度も沢山の地域の方々との出会いを楽しみに、親子のふれ合いの時間を大切にしていきたいと思ひます。

今月もソーシャルディスタンスを取りながら、親子で楽しみましょう。

＊ ちょこっとコラム ... 開トラブル

4月になると寒さも緩み、日中外で遊んでいると汗ばむ子も出てきます。アトピー性皮膚炎などで肌がカサカサしやすい子の中には、汗をかくとかゆみがかきかきひびくようになってしまふ子もいます。かき壊すと、とびひに感染することもありますので、調節のしやすい衣服で過ごしましょう。

● 恵明キッズサクラビレッジ内  
三島市文教町2-28-6 tel.055-943-6878

### ぼこ通信

2021. 4

うららかな春日和。園庭に咲く色とりどりのお花にちようちやうがひらりと舞っています。きれいな春色のプレゼントですね。

今年度のぼこも、暖かいゆくりの中にあるような優しい雰囲気の中で、たくさんのお友達に出会えるのを楽しみにしていきたいと思ひます。どうぞ、よろしくお願ひします。

★ ちょこっとコラム ★ ~ チューリップの花 ~

園庭でチューリップがきれいな花を咲かせました。「あか、しろ、きいろ」とお友達と歌いながら楽しんでみましょ。花からひよこり春のお香さんが顔をだすかもしれませんよ。チューリップは品種が多数あり、その数500種以上と書われています。色や形も様々な品種のようならひらひらしたものや、ばらの花のようなものもあり、目を楽しませてくれます。

● 恵明キッズコスモスビレッジ内  
三島市谷田1629-38 tel.055-973-7778

### ローズ通信

2020. 4

4月になり、ポカポカと暖かい日が増えてきました。虫たちも目を覚まし、園庭では子ども達が夢中でダンゴ虫やカエルを探して遊んでいます。桜の咲く公園へ、お弁当を持ってお花見に行くのもいいですね。今年度も、楽しいイベントを用意してお待ちしています。

★ ちょこっとコラム ★ ~ 花より団子 ~

お花見の定番スイーツ、3色のお団子。ピンク、白、緑と3つの色にも意味があり、ピンクは「桜の咲く春」、白は「雪の降る冬」、緑は「葉が生いしげる夏」を表しているそうです。それぞれの意味をお話しながら食べると楽しいですね。

● 恵明キッズローズビレッジ内  
駿東郡清水町堂庭89-16 tel.055-943-5519



# 恵明コスモス児童センター



この春休みにコスモス児童クラブではとてもうれしい出来事がありました。いつも通りの朝、小学生と朝の会をしていると、コスモス児童センターの入り口の方から「おはようございます」と、私服姿の男女の若者が6人立っていました。

こんな朝早くから誰だろうと思っ

てよく見ると、なんとそこには見覚えのある顔がずらり！卒園生でした。みんなとても大きくなり、町ですれ違ってもわからないくらい成長ぶりです。みんなそれぞれ4月から大学生になるということでみんなで待ち合せて顔を見せにきてくれたということでした。その日は、朝から1日ずーつと小学生と遊んでくれ、私自身も彼らと久しぶりの会話ができて、とても楽しい1日を過ごすことができました。みんな優秀でそれぞれの目的を持っていることに感心させられました。

また、その翌日には4月から高校生になる卒園生が12人も報告に来

てくれました。この子たちも一人ひとり目標を持って話をしてくる様子に成長が感じられました。

また、さらに4月にはいつてすく、大学生と高校生の兄弟が遊びに来てくれました。この二人は以前よく小学生のキャンプや夏休みにボランティアとしてお手伝いに来てくれたいた卒園生です。今、コロナの影響でロンドンの大学に帰れず、日本にいるとのこと、また弟君はアメフトをやっている随分と体格がよく逞しくなっていて、これまたびっくりするやらうれしやらでした。

このみじかい期間にたくさんの卒園生が遊びにきてくれたこと、本当にうれしかったです。コスモス児童クラブ、今後も卒園生みんなが来やすいところであり続けたいと思います。

みんなの今後の活躍を応援しています！

脇 雅秀(センター長)



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

## SDGsとは... 持続可能な開発目標 Sustainable Development Goals の略

2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、国際社会共通の目標。それまでは8つの目標(MDGs)が掲げられていたが先進国による途上国の支援を中心とする内容であったので、地域の偏りや見落としもあったとの指摘を受けた。そこで誰一人取り残されないことを目指し、先進国と途上国が一丸となって達成すべき目標を掲げた。17の目標で構成されている。

- ① 貧困をなくそう
- ② 飢餓をゼロに
- ③ すべての人に健康と福祉を
- ④ 質の高い教育をみんなに
- ⑤ ジェンダー平等を実現しよう
- ⑥ 安全な水とトイレを世界中に
- ⑦ エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- ⑧ 働きがいも経済成長も
- ⑨ 産業と技術革新の基盤をつくろう
- ⑩ 人や国の不平等をなくそう
- ⑪ 住み続けられるまちづくりを
- ⑫ つくる責任つかう責任
- ⑬ 気候変動に具体的な対策を
- ⑭ 海の豊かさを守ろう
- ⑮ 陸の豊かさを守ろう
- ⑯ 平和と公正をすべての人に
- ⑰ パートナーシップで目標を達成しよう

今、色々なところでSDGsという言葉が聞こえてきますが、私たちに具体的にできることを考えて実行していかなければならない時期にきていると思います。こども園グループとして何が出来るか、どんなことを啓蒙し、協力していくことができるか、模索中ですが、まずは、この17の目標を身近に知っていただければと思います、掲載しました。

# 恵明キッズ コスモス ビレツジ

## お友だちの存在

今年度、たんぼ組を担当させて頂くことになり、1ヶ月が経ちました。朝の会の時などつくし組さんに「つくしさん、いいですか？」と聞くと、たんぼ組さんの方から「いいですよ」という声が聞こえてくることもありますが、たんぼ組と気がつき「違うよ」たんぼ組さん「たんとお話しするほほえましい姿も見られます。」



今年度のたんぼ組さんは、「今年度たんぼ組を担当させて頂くことになり、1ヶ月が経ちました。朝の会の時などつくし組さんに「つくしさん、いいですか？」と聞くと、たんぼ組さんの方から「いいですよ」という声が聞こえてくることもありますが、たんぼ組と気がつき「違うよ」たんぼ組さん「たんとお話しするほほえましい姿も見られます。」

甘えん坊な子、負けず嫌いな子、少し泣き虫な子、個性豊かな子が多いクラスです。たんぼ組の三分の二が昨年度つくし組と一緒に生活してきたお友だちですが、一緒に何かをするという姿より、同じ空間にはいるけれど二人ずつ個々で遊んでいるという姿の方がよく見られていました。そんなお友だちの存在もたんぼ組になり、少しずつ変化してきているように感じられます。泣いている子がいると「どうしたの？大丈夫？」と顔を覗き込み手を思いやる子「できない」「やっつて！」「と今まで泣いたり泣いたり怒ったりする場面でも「お友だちが頑張っているから私も頑張ろう」と頑張る力に変わっていきようになり、お友だちの存在が子どもたち一人ひとりとってかけがえのないものになってきています。

## 魔法の言葉

藤田 みなみ(保育士)

今年度、初めてゆり組さんを担当させて頂く事になり、私は嬉しさと緊張と不安でいっぱいでした。しかし今年度が始まってみると、子どもたちの元気いっぱいパワフルな姿を見て、背中を押された気分になり、自然と笑顔になっていました。ゆり組さんには優しいお友だちが多く、製作の時間に誰か



今年度、初めてゆり組さんを担当させて頂く事になり、私は嬉しさと緊張と不安でいっぱいでした。しかし今年度が始まってみると、子どもたちの元気いっぱいパワフルな姿を見て、背中を押された気分になり、自然と笑顔になっていました。ゆり組さんには優しいお友だちが多く、製作の時間に誰かがクレヨン

今年度、初めてゆり組さんを担当させて頂く事になり、私は嬉しさと緊張と不安でいっぱいでした。しかし今年度が始まってみると、子どもたちの元気いっぱいパワフルな姿を見て、背中を押された気分になり、自然と笑顔になっていました。ゆり組さんには優しいお友だちが多く、製作の時間に誰かがクレヨン



## うれしい！

魔法の言葉？の力を発揮して子どもたちを受けとめていきたいと思えます。岩本 真由実(保育士)

女関前のパンジーやピオラが、色とりどりの花を咲かせ、春の訪れを伝えてくれる四月。また新しい一年が始まりました。当初は毎朝泣き声が響いていましたが、いつの間にか「おはようございます」「行ってきますね！」という声と笑顔に変わり、今年も子どもたちの成長をひしひしと感じるスタートとなりました。

私は今年度も女関を担当することになりました。子どもたちにも「お迎え担当のくみ先生」として定着しているよう「今日は

早いお迎えだよ」「今日はパパが来るからね！」と私に伝えてくれます。つくし組のお友だちも、帰りの時間に私が行くと「お迎えだよ」とわかるところか、ここにしながらお部屋から出てくるので、なんだかこちらが嬉しくなってしまう毎日です。

私、お迎えのくみ先生はピアノを弾くことが大好きなので、大きい子組さんの帰りの会に飛び入り参加することがあります。並ぶ時にピアノを弾き始めると、自然に子どもたちも曲に合わせてトントン前をして、上手に列になっていきます。楽しそうに列になつていく子どもたちを見ると、私も嬉しくなりま

す。また、「くみ先生みたいになりたい」と言ってくれる子もいて、子どもから憧れってもらえる存在なのだと思うと、とても幸せだな、と感じています。

これからも、子どもたちが嬉しい楽しいやっつてみたい！と思うようなさうかけを作ったり、思いを共有していく保育士でありたいと思います。子どもたちの笑顔が、もっとキラキラ輝くように。

興水 久美(保育士)



# 恵明キッズ サクラビレッジ

何年経っても...



先日、卒園生が中学校の入学式の後、こども園に顔を出してくれました。サクラビレッジが開園した頃は年少さんだった子どもたちです。中学の制服を着て誇らしげに立っている姿に感動したと同時に、月日の経つ早さに驚きを感じました。今年でサクラビレッジは十年目を迎えますが、十年経っても先生たちの名前を覚えていてくれたり、節目節目には会いに来てくれたりする事を嬉しく思います。

今年度私は三歳児のみれ組の担任になりました。すみれ組さんは二階の部屋から三階の部屋に生活が移り、大きなリュックを背負って階段を一生懸命登ってきます。二階に着くと、自分の支度を済ませてから組さんが待つていてくれて支度や着替えのお手伝いをしてくれます。すみれ組さんはそんな優しいお兄さんやお姉さんの事が大好きです。入園・進級して二ヶ月が経ち、少しずつ自分でやってみたいとの気持ちも育ってきました。色々と挑戦していますが、「ボタン二人でできたよ!」と得意気に掛け違えたボタンを見せる姿はとても微笑ましく思います。

粘土遊び・プレゼンテーション・キングダムブックなど毎日ワクワク楽しい事がいっぱい!「次は何ができるかな?」と期待で胸を膨らませているすみれ組さん!これから色々な事に挑戦していく中で



楽しい事・好きな事などたくさん見つけられるように援助していきたいと思えます。何年経っても色あせない思い出をサクラビレッジで一緒に作っていききたいと思います。

六車 彩香(保育士)

栄養士として  
2年(2021)

入園式・進級式が無事に終わり、令和三年度が始まりました。

初日は泣き声のコーラスがキッチンまで響き渡っていましたが、日に日に落ち着き、新入園児のお友達も少しずつ園生活に慣れてきていくように思っています。

入園式・進級式が無事に終わり、令和三年度が始まりました。

初日は泣き声のコーラスがキッチンまで響き渡っていましたが、日に日に落ち着き、新入園児のお友達も少しずつ園生活に慣れてきていくように思っています。



今年度サクラビレッジのつくし組さんは、十七人が離乳食からスタートしました。初期・中期・後期・完了期のそれぞれに適した調理をする事はもちろん、つくし組の担任の先生との連絡を密にとり、子供達に負担なく、少しでもスムーズに離乳が進むよう心がけています。

大きいクラスの在園児のお友達は相変わらずの食欲で「こちそうさまでした!おいしかったです!」と必ず気持ちの良いあいさつをしてくれます。私達キッチンの職員は、キッチンの中からだけでなく、ラウンジまで出て子供達の食べている様子を見たり、感想が聞けるよう心がけています。その中で新入園児の

「泣かないで」と声をかけお手伝いしている姿が見られます。また、子どもたちは、一日にあったこと嬉しいこと、むずかしくて嫌な事などたくさん話を「あかねせいせい!」と教えてくれます。その言葉のつづきに色々な思いがめめられていると思います。今、どんな些細なことでも、目を合わせて聞くことを心がけています。そうすることで、子どもたちの信頼関係を築くこともでき、子どもたちに話を聞いてくれるんだ!「自分の思いを伝えることは楽しい!」と思ってもらえると思います。たくさん言葉をお友達に「ランチを作っている先生」と知ってもらった事がきっかけで、ランチを完食できるようにになった子がいました。それはとても嬉しい出来事でした。誰が作っているかわからない物を食べる事も、不安の一つになっていたのかなと感じました。

「ワクワク」と「不安」がいらっしゃる時期、ランチやおやつが、少しでも子供達の不安を減らし、楽しい園生活を送るにつけていってほしいです。そんな思いをキッチンの先生達みんなで共有し、子供達を見守っていききたいと思います。

山崎 あいみ(栄養士)

私は、令和三年の四月に「保育士」としてこの恵明キッズサクラビレッジの職員になりました。

男性保育士は、この保育士業界では、とても珍しく、色々な人達と「本場に保育士になるの!」や「男性で保育士、しっかり出来るの!」「女性社会だよ!」など、色々男性だからという理由で言われてきました。しかし高校の担任(恩師)や、大学の先生や友達に「男性の保育士なんてかっこいいじゃん!」や「君は優しいから保育士に向いているよ!」など沢山の嬉しい言葉をかけてもらい、周りから嫌なことを言われても気にも留めなくなり、保育士という夢を持ちながら、令和三年の四月に保育士になることが出来ました。現場に実際はいり「保育士」という仕事の重要さがわかります。大学生の時の保育実習で、初めて保育の現場に立ち、実際に保育をさせてもらった時には、自分が思っていた以上に大変な仕事だと実感し



ました。例えば、子ども達に、安心安全に生活してもらおうための配慮を細かく考え、子ども一人ひとりにあった保育をする等々、沢山のことを考えながら保育をすることの大変さを感じました。そして「ただ子どもが好き!」というだけでは保育はできないと思いましたが、いろいろなことに「やりがい」ということも自然に感じる事ができました。日々「やりがい」を感じながら保育士としての「プライド」を大切にこの恵明キッズサクラビレッジで子どもたちと共に成長できるよう、頑張りたいと思っています。

渡邊 優(保育士)

# 恵明キッズ ローズビレッジ

子どもこのきずな



今年度つくし組は〇歳児三名・二歳児十三名でスタートしました。新しいお友達は十一名です。

毎朝大泣きで始まる一日。抱っこをすると落ち着く子もいれば、泣きつも遊び始める子と様々です。泣いている子をあやしているのは保育者だけではない

今年度つくし組は〇歳児三名・二歳児十三名でスタートしました。新しいお友達は十一名です。

毎朝大泣きで始まる一日。抱っこをすると落ち着く子もいれば、泣きつも遊び始める子と様々です。泣いている子をあやしているのは保育者だけではない

心でできる場所であることを体験してきたからこそ表れた行動だったのではないかと、思うと、これから新しい信頼関係を築いていくことの大切さを実感しています。

今、一週間ランチを食べなかつたお友達が急に自分からパクパク食べるようになったり、泣き続け

ありません。驚いたことに二年先輩の四名のお友達が心配そうに顔をのぞきながら頭をなでたり背中をトントンしてくれていたのです。

つられて泣いたり、甘えたりするのは危惧していたのですが、思わぬ子どもたちの自然な行動に「ありがとう」と抱きしめてしまいました。

泣いている時に優しくしてもらったこと、ここは安

心でできる場所であることを体験してきたからこそ表れた行動だったのではないかと、思うと、これから新しい信頼関係を築いていくことの大切さを実感しています。

今、一週間ランチを食べなかつたお友達が急に自分からパクパク食べるようになったり、泣き続け

「泣かないで」と声をかけお手伝いしている姿が見られます。また、子どもたちは、一日にあったこと嬉しいこと、むずかしくて嫌な事などたくさん話を「あかねせいせい!」と教えてくれます。その言葉のつづきに色々な思いがめめられていると思います。今、どんな些細なことでも、目を合わせて聞くことを心がけています。そうすることで、子どもたちの信頼関係を築くこともでき、子どもたちに話を聞いてくれるんだ!「自分の思いを伝えることは楽しい!」と思ってもらえると思います。たくさん言葉をお友達に「ランチを作っている先生」と知ってもらった事がきっかけで、ランチを完食できるようにになった子がいました。それはとても嬉しい出来事でした。誰が作っているかわからない物を食べる事も、不安の一つになっていたのかなと感じました。

「ワクワク」と「不安」がいらっしゃる時期、ランチやおやつが、少しでも子供達の不安を減らし、楽しい園生活を送るにつけていってほしいです。そんな思いをキッチンの先生達みんなで共有し、子供達を見守っていききたいと思います。

山崎 あいみ(栄養士)



「泣かないで」と声をかけお手伝いしている姿が見られます。また、子どもたちは、一日にあったこと嬉しいこと、むずかしくて嫌な事などたくさん話を「あかねせいせい!」と教えてくれます。その言葉のつづきに色々な思いがめめられていると思います。今、どんな些細なことでも、目を合わせて聞くことを心がけています。そうすることで、子どもたちの信頼関係を築くこともでき、子どもたちに話を聞いてくれるんだ!「自分の思いを伝えることは楽しい!」と思ってもらえると思います。たくさん言葉をお友達に「ランチを作っている先生」と知ってもらった事がきっかけで、ランチを完食できるようにになった子がいました。それはとても嬉しい出来事でした。誰が作っているかわからない物を食べる事も、不安の一つになっていたのかなと感じました。

「ワクワク」と「不安」がいらっしゃる時期、ランチやおやつが、少しでも子供達の不安を減らし、楽しい園生活を送るにつけていってほしいです。そんな思いをキッチンの先生達みんなで共有し、子供達を見守っていききたいと思います。

山崎 あいみ(栄養士)

「泣かないで」と声をかけお手伝いしている姿が見られます。また、子どもたちは、一日にあったこと嬉しいこと、むずかしくて嫌な事などたくさん話を「あかねせいせい!」と教えてくれます。その言葉のつづきに色々な思いがめめられていると思います。今、どんな些細なことでも、目を合わせて聞くことを心がけています。そうすることで、子どもたちの信頼関係を築くこともでき、子どもたちに話を聞いてくれるんだ!「自分の思いを伝えることは楽しい!」と思ってもらえると思います。たくさん言葉をお友達に「ランチを作っている先生」と知ってもらった事がきっかけで、ランチを完食できるようにになった子がいました。それはとても嬉しい出来事でした。誰が作っているかわからない物を食べる事も、不安の一つになっていたのかなと感じました。

「ワクワク」と「不安」がいらっしゃる時期、ランチやおやつが、少しでも子供達の不安を減らし、楽しい園生活を送るにつけていってほしいです。そんな思いをキッチンの先生達みんなで共有し、子供達を見守っていききたいと思います。

山崎 あいみ(栄養士)

今年度つくし組は〇歳児三名・二歳児十三名でスタートしました。新しいお友達は十一名です。

毎朝大泣きで始まる一日。抱っこをすると落ち着く子もいれば、泣きつも遊び始める子と様々です。泣いている子をあやしているのは保育者だけではない

今年度つくし組は〇歳児三名・二歳児十三名でスタートしました。新しいお友達は十一名です。

毎朝大泣きで始まる一日。抱っこをすると落ち着く子もいれば、泣きつも遊び始める子と様々です。泣いている子をあやしているのは保育者だけではない

今年度つくし組は〇歳児三名・二歳児十三名でスタートしました。新しいお友達は十一名です。

毎朝大泣きで始まる一日。抱っこをすると落ち着く子もいれば、泣きつも遊び始める子と様々です。泣いている子をあやしているのは保育者だけではない

今年度つくし組は〇歳児三名・二歳児十三名でスタートしました。新しいお友達は十一名です。

毎朝大泣きで始まる一日。抱っこをすると落ち着く子もいれば、泣きつも遊び始める子と様々です。泣いている子をあやしているのは保育者だけではない

今年度つくし組は〇歳児三名・二歳児十三名でスタートしました。新しいお友達は十一名です。

毎朝大泣きで始まる一日。抱っこをすると落ち着く子もいれば、泣きつも遊び始める子と様々です。泣いている子をあやしているのは保育者だけではない

今年度つくし組は〇歳児三名・二歳児十三名でスタートしました。新しいお友達は十一名です。

毎朝大泣きで始まる一日。抱っこをすると落ち着く子もいれば、泣きつも遊び始める子と様々です。泣いている子をあやしているのは保育者だけではない

今年度つくし組は〇歳児三名・二歳児十三名でスタートしました。新しいお友達は十一名です。

毎朝大泣きで始まる一日。抱っこをすると落ち着く子もいれば、泣きつも遊び始める子と様々です。泣いている子をあやしているのは保育者だけではない

今年度つくし組は〇歳児三名・二歳児十三名でスタートしました。新しいお友達は十一名です。

毎朝大泣きで始まる一日。抱っこをすると落ち着く子もいれば、泣きつも遊び始める子と様々です。泣いている子をあやしているのは保育者だけではない

今年度つくし組は〇歳児三名・二歳児十三名でスタートしました。新しいお友達は十一名です。

毎朝大泣きで始まる一日。抱っこをすると落ち着く子もいれば、泣きつも遊び始める子と様々です。泣いている子をあやしているのは保育者だけではない



真似してみたりと学びの毎日です。子どもたちとの関わりの中で難しく感じることもありますが、子どもの気持ちに寄り添うことを大切に、試行錯誤しながら良い保育を目指していきたいです。

加藤 美咲(保育士)



# こども園グループ

お誕生日おめでとう  
ございます

## “お誕生日”

それは、誰でも1年に一度迎える記念すべきうれしい日です。こども園グループでは、月に一度お誕生日会を行い、当月のお誕生日月のお友達は、担任の先生にみんなの前で自分の良いところをたくさん褒めてもらい、お友達からは一人ずつハッピーバースデーの歌をうたってもらい、お祝いします。



## 令和3年度 三島市春の花壇コンクール結果

今年も三島市春の花壇コンクールで下記受賞しました！

- 市長賞 恵明キッズコスモスビレッジ
- 会長賞 恵明キッズサクラビレッジ
- 議長賞 恵明キッズフヨウビレッジ

